

令和 6 年度生徒指導サポート実践校 「特別活動の取組事例」

学校名	海田町立海田中学校	校長	河北 光弘	生徒指導主事	民法 知紘
取組事例名	『コグトレ（認知機能向上）』				

1 取組の設定

取組を実施する意図及びねらい	取組を通して育てたい児童生徒像
見る、聞く、想像するなど教科の内容の土台となる、認知的機能の向上を目指して行う。	コグトレの認知機能強化トレーニングを通して、物事を論理的に考える習慣素地を整え、学力の土台をつくることができる。



2 展開

取組の具体的内容	取組の創意工夫
1 実施日 毎週木曜日、朝の SHR の 10 分間で行う。 (木曜日以外は朝読書)	生徒にめあてをもたせるために コグトレの効果の説明を通して、自分自身を見つめ直すよう仕向ける。
2 方法 通級指導教室通室生徒や特別支援学級（自・情）在籍生徒対象にはコグトレオンラインが整備されているが、この取組は全校生徒を対象としているため、紙媒体を配付して行っている。	生徒の意欲を高めるために 「できた」、「できなかった」に着目するのではなく、「楽しく」をキーワードに行う。その中で、自分の課題を発見させる。
3 内容 ～覚える～ ○最初とポン ・教師が 2 つまたは 3 つの文章を読み上げる。 ・生徒は各文章の最初の単語だけを覚える。読み上げる文章に動物の名前が出てきたら手を叩きます。 ・教師が文書を読み終わったら、生徒は覚えている最初の単語を書く。 ～数える～ ○記号探し ・同じ記号を探しながら何個あるか数える。 ○探し算 ・となりあった数字を足して、既定の数字になるものを探して囲む。	生徒の頑張りを認め、価値付けるために コグトレの効果が成績に直結するものではなく、認知機能強化トレーニングということを理解させ、積み重ねの大切さを説く。



3 成果と課題

○「楽しい。」「面白い。」「この勉強なら自分でもできる。」という生徒の声が多い。 ○生徒の声にもあるように、意欲的に取り組む生徒が多い。 ●成果が目に分からないので意欲の継続が難しい生徒もいる。（積み重ねのトレーニングのため、継続的な取組が必要。） ●やって終わりになっている場面が多く、このトレーニングにどのような効果があるのかを説明したり、自分自身の課題に向きあう振り返りをしたりする時間を確保できていない。 ●コグトレの目的、効果、活動の振り返りが十分ではないことがある。
